

宮城県理学療法士会

# 国際交流・支援等委員会

～ グローバル社会における理学療法士の活躍に資する事例紹介 ～

Miyagi Physical Therapist Association



# 活動目標・方針

異文化・多文化の**相互理解**を深め、**グローバルヘルス**への貢献や国際・地域社会の安定を目指していくため、以下3つを大事にしながら活動している

1. 海外理学療法士や外国人との国際交流
2. 在日・在留外国人や外国人材への支援
3. 多様化する社会へ柔軟に対応



# 活動開始の経緯

## E-nudge (若手理学療法士活躍推進) 委員会

● 目的

「20代・30代の若手理学療法士」の活動・交流を促進させることで、宮城県士会全体の活性化を図る

E-nudge



女性活躍推進

国際協力推進

研究推進

国際交流・支援等委員会



MPTA内だけでなく、地域や社会課題解決へ向け外国人・他団体と共同し国際交流・支援活動

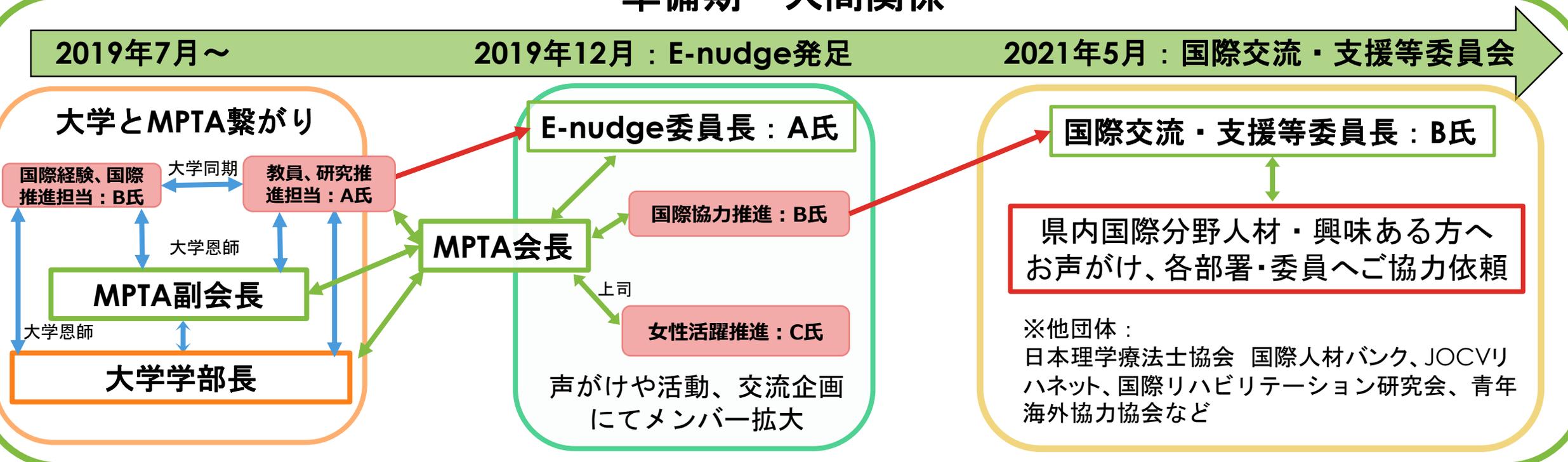
やってみたいこと・繋がりから活動を開始



# 活動開始時の組織体制・準備



## 準備期・人間関係



# メンバー概要

## E-nudge委員会



2019年12月：発足メンバー3名

A氏：委員長、研究推進：大学教員、国際学会経験

B氏：国際協力推進：訪問リハ、JICA海外協力隊経

C氏：女性活躍推進：病院勤務、国際経験なし

### 基本理念：

1. 仲間とともに、新たな一歩の可能性を考える
2. 新しいことに挑戦し続け、理学療法の楽しみ方を探求する
3. 多様性の理解から、未来を創造する

2023年3月：現メンバー17名

1年目～13年目が募り、新企画開催

## 国際交流・支援等委員会

2021年5月：発足メンバー6名

2023年3月：現メンバー7名

### 宮城県内の取り組み事例

- A. 他国の理学療法士協会などの学術、教育交流：1名
- B. 士会会員の国際感覚や言語能力の向上などを推進する取り組み：1名
- C. 訪日・在日外国人に対する理学療法の提供：2名
- D. 国際やヘルスケア領域における理学療法士の職域拡大に関する取り組み：2名

### その他：国際経験

- a) JICA海外協力隊経験者：4名（フィジー共和国、ドミニカ共和国、キルギス、ボリビア）
- b) 日本理学療法士協会 国際事業 他国協会との関係醸成部会員：1名
- c) 日本理学療法士協会 国際事業 JANNET支援委員：1名
- d) 宮城県国際化協会 医療通訳・災害通訳ボランティア登録：1名
- e) 国際リハビリテーション研究会員：4名

# 2021年度活動実績

テーマ：TSUNAGU×International～JICA海外協力隊活動と多様なキャリア

- ・ 開催日時：2021年12月13日 20:00-21:30
- ・ 開催方法：zoom
- ・ 参加人数：28名（会員26名うち秋田県2名、岩手県1名/非会員2名）
- ・ 実施内容：3名の講師による講演（各30分）と座談会を実施
- ・ 事後アンケート：回答者全員が参加して良かったと満足いただけた

## 広報

### MPTA会長より

- ・ 東北理学療法士会長：東北会員
- ・ 理学療法東北ブロック協議会
- ・ 宮城OT/ST県士会

### 委員より

- ・ JICA東北
- ・ 宮城国際化協会
- ・ 仙台市多文化センター
- ・ 宮城青年海外協力協会（OB会）

東北の国際へ興味ある理学療法士や他団体と繋がれた



**TSUNAGU×International**  
～ JICA海外協力隊の活動と多様なキャリア～

開催日時 **12月13日(月)**  
20:00～21:30  
オンライン：Zoom使用

参加費  
無料：東北の各県士会員  
非会員：1,000円 +手数料158円

講師：JICA海外協力隊経験者

 古川 雅一 氏 元キルギス隊員×学校教員  
(仙台医健・スポーツ専門学校)

 菅原 美波 氏 元ドミニカ共和国隊員×行政×育児  
(仙台市地域包括ケア推進課)

 菊池 真美子 氏 元ボリビア隊員×国際協力推進員  
(JICA岩手デスク)

### 【お申込み方法】

URL <https://forms.gle/1BWgENm4dyMnTK8B9>

お申込み締切：当日まで可能  
※Zoom情報は参加申し込みされた方に  
開催の前日にお知らせします。

QRコード



※非会員の場合  
お申し込み後に  
Peatixにて  
お支払いください

途中参加・途中退室自由です！ぜひお気軽にご参加ください！

主催：宮城県理学療法士会  
運営：E-nudge委員会、国際交流・支援等委員会



# 2022年度活動実績

**国際交流のミリョクと語学のキホン**  
～ 多文化理解 ～

【日時】 2022/9/21(水) 19:30～20:30 【開催方法】 オンライン(Zoom)

【参加費】 JPTA会員の理学療法士、他職種、学生 ⇒無料  
JPTA非会員の理学療法士 ⇒ 1158円  
※JPTA非会員の理学療法士の方は参加登録後にPeatixでお支払い下さい



**講師**  
高橋恵里氏 (東北福祉大学, 国際リハビリテーション研究会)  
佐竹深雪氏 (宮城県国際化協会 医療通訳サポーター)

【参加申し込み】 ※締切⇒当日正午  
<https://forms.gle/poajLo2uuVh6sAB9>



主催：宮城県理学療法士会  
共催：国際リハビリテーション研究会  
後援：(公財)宮城県国際化協会  
運営：国際交流・支援等委員会、国際リハビリテーション研究会Northチーム

※情報保障等をご希望の方は、国際リハ研究会事務局 [jsirevent@gmail.com](mailto:jsirevent@gmail.com)までご連絡ください。

- 開催方法: zoom
- 参加人数: 49名 (25都道府県)
- 主催: 宮城県理学療法士会 国際交流・支援等委員会
- 共催: 国際リハビリテーション研究会
- 後援: (公財)宮城県国際化協会

**スポーツ活動と国際活動経験**  
～東京オリンピック・パラリンピックを通して～

【日時】 2022/12/14(水) 19:30～21:00 【開催方法】 オンライン(Zoom)

【参加費】 JPTA会員の理学療法士、他職種、学生 ⇒無料  
JPTA非会員の理学療法士 ⇒ 1158円  
※JPTA非会員の理学療法士の方は参加登録後にPeatixでお支払い下さい

【講師】  
片岡洋樹氏 「スポーツ理学療法への関わり方 ～東京パラリンピック経験を踏まえて～」 (仙台医健・スポーツ専門学校)



今野良紀氏 「東京オリンピック経験と国際活動への携わり方」 (仙台医健・スポーツ専門学校)



【参加申し込み】 ※締切⇒当日正午  
<https://forms.gle/gy8wsDZfszy3TqNcA>



主催：一般社団法人宮城県理学療法士会  
運営：E-nudge × 国際交流支援等委員会

- 開催方法: zoom
- 参加人数: 70名 (10都道府県)
- E-nudge委員会と共同
- 若手理学療法士のキャリアや地域(普段スポーツ現場)・国際活動への繋がりや活動を学ぶ企画。
- 国際分野へ興味がある参加者へのきっかけづくり、挑戦し続ける大切さを学ぶことができた。

**広報協力: 日本理学療法士会 国際活動への協力者の人材バンク登録へ依頼**  
**他団体との共催、後援により他職種の参加**

# 県士会員活動参加メリット・デメリット

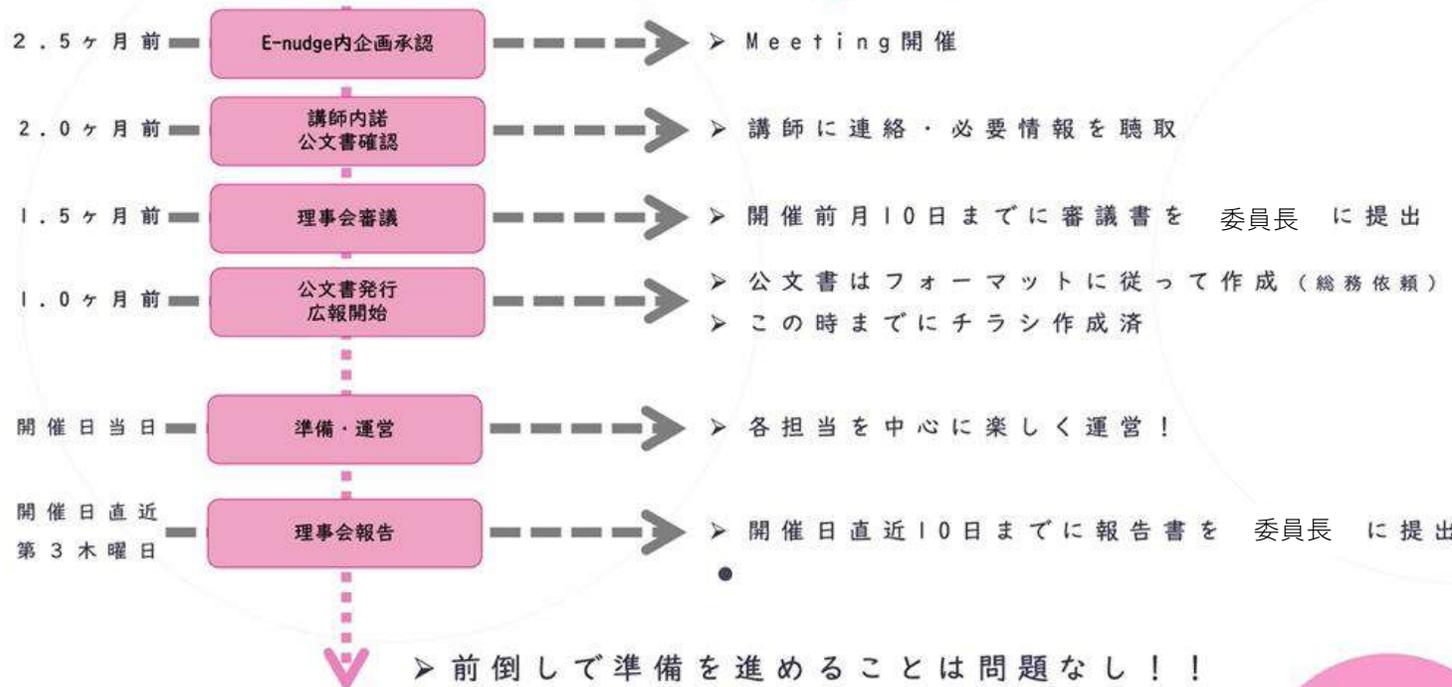
## メリット

1. 国際感覚の向上を目的とした勉強会等を企画でき、繋がることできること
2. 顔が広がる、運営の仕組みや方法を知ることができる、仕事のモチベーションが上がる、学ぶ環境に身を置き続けることができる
3. 国際経験豊かな先生方のお話を聞けること
4. 他国の情報得られること、国際に関わっている方とつながりができること
5. 理学療法士の活動一つである『国際』をお伝えし、会員が将来の目標を見つける一助に繋がること
6. 人と知り合える、他者の意見がわかる、イベント運営における試行錯誤ができる、通常の研修会企画では困難な企画を行える、未来への可能性を感じられる
7. 興味分野が似た知人に知り合えたこと

## デメリット

1. 特になし:5名
2. 準備や運営に時間や手間がかかる
3. 他役割との両立の困難さ

### 【 E-nudge委員会 開催スケジュール例 】



# 今後の方向性

## 委員会活動・組織の広がり



## 具体的な活動計画

【 2023年度 国際交流・支援等委員会 事業計画 】  
部局・委員会、他団体と共同し、勉強会(年4回)開催:オンライン会議、現場からのハイブリッドシステムを利用した方法で計画

- 1) 国際理解・開発教育講演(仮): 多文化共生と東北の在住外国人の現状、JICA東北との共同企画
- 2) 海外在住の理学療法士の活動を知ろう(仮): JICA海外協力隊の派遣現地からオンライン
- 3) 国際スポーツ企画(仮): スポーツを通じた国際活動経験
- 4) JPTA国際事業課の活動とこれから(仮): 協会と県士会の連携

※運営計画: 会議を年間5回程度開催予定

その他: アイディア

・介護、福祉現場での外国人労働者との共同事業

広報戦略、多様化する社会・地域課題へ対応していく

# 活動の財源・持続性

## 活動財源

主たる財源：MPTA会費

2022年度予算

- ・事業費：282,000円
- ・運営費：64,500円

2022年度支出

- ・事業費：47,090円
- ・運営費：0円

## 持続性

- ・ 他団体との共同事業(右図)
- ・ 組織内のコラボ事業にて予算拡大
- ・ 宮城や地域に根ざした活動、国際共同事業、多文化共生、教育事業など多様化する社会課題へ対応



# まとめ

1. これからのMPTAの未来を作ると、会長や役員からのご理解、率先的なご支援を頂き、活動開始と継続できている
2. 若い世代の「やってみたい・やりがい・きっかけ作り」として、nudgeすることができ、MPTAも活性化している
3. 組織における部局や委員会を越えた協働活動、そして他団体との協調と連携により国際交流や支援活動を行い、地域貢献や職能活動の促進、国際分野への社会貢献が活動が必要となってきた

